

いわみざわ 市議会だより



社会科の授業として、清園中学校 3年生が「身近な地域の課題」を実現するための提案に対し、議員が助言を行いました。
詳細は 2 ページに掲載しております。



今号の主な内容

- 中学生が議員に提案 2
- 平成 28 年度決算の認定などを審議
(第 4 回定例会審議結果) 3
- 10 人の議員が市政について質問
(一般質問) 4
- 先進都市の取り組みを調査 9
- 市長に新庁舎整備に関する提言書
を提出 10

議会と連携した中学校の授業

10月27日に市議会議場において、社会科の授業として、清園中学校3年生55名が事前にまとめた「身近な地域の課題」を実現するための提案に対し、議員が助言を行いました。

当該授業は、清園中学校が文部科学省の指定を受けている事業の一つとして実施いたしました。提案と助言の一部につきまして、以下のとおり掲載いたします。

提案

通学路や交差点の端に雪山が高く積み重なり、危険なため、除排雪をこまめにしてほしい。

ダンプにシヨベルをつけるなど1台に2役させたら除排雪費が削減され、通学路の雪山を少しでも減らせると思う。

助言

市は、学校付近の歩道は、こまめに排雪をし、雪山をなくす作業をしているが、全ての雪山を取ることは無理なため、交差点を渡る時は、極力信号のある交差点を渡るようにお願いしたい。

ダンプにシヨベルをつけるなど1台に2役させるという案は素晴らしいと思う。これに似たような車で本州には、融雪溝がついた1台の車で雪を解かしながら後ろに送るといふ機械がある。北海道の気象条件では、解かした水がアイスバーンになり余計危険になるため、導入がおくれている。技術革新して、そういう形にならないようにすれば、北海道でも導入がふえるのではと期待している。

皆さんの提案はすばらしいため、社会に出たときにそういった開発ができれば、非常に助かる。

提案

高速道路のサービスエリアにリニューアルという形での道の駅をつくることや東山公園と陸上競技場の間に道の駅をつくらせてほしい。

これにより岩見沢の野菜、果物が豊富といったところを生かし、まちづくり、産業の発展などにつながる考えた。

助言

道の駅構想で高速道路という。高速道路の場合は、長時間運転となるため、休憩したり食事等さまざまな楽しみ方ができる。

ただ道の駅をつくるだけでなく、いろいろ回ったり、楽しんでいただく仕組みもあわせて考えていただければ嬉しい。皆さんのその希望を胸にアイデアがあったら寄せていただきたい。

提案

各小学校に学童保育をつくらせてほしい。学校から児童館まで多少距離があり、子どもたちだけでの移動は危険だと思う。まずは、学校から児童館までの距離が遠い日の出小学校で学童保育を実施するのはどうか。

助言

日の出小を初め幌向小、栗沢小、(東小)では、ことし

の4月から学校内の余裕教室を利用して学童保育を始める予定にしている。今後においても少子化などの影響に伴い児童数の減少により空き教室が見込まれることから、他の小学校においても徐々に学童保育が実施される方向になると思う。

今後とも児童クラブを充実させるため、今の提案に一生懸命対応したい。

提案

安全のため、通学路の街灯をふやしほしい。可能であればLEDにして明かりを確保してほしい。

助言

街灯の設置は、町内会から市に申請し、予算の範囲内で設置していただいている。町会に相談していただければと思う。

LEDへの交換は、市管理の街灯であれば、市に、町内管理の街灯であれば、町内会に相談していただくことが必要。町内会管理の街灯のLEDへの切り替えは、市でも補助をしているが、町内会加入者が減少している所は、一人当たりの負担額が大きいため、切り替えが進んでいない所もある。

平成29年第4回定例会（12月4日▶12月15日） 審議結果

議案番号	件名	審議結果
議案第95号	平成28年度岩見沢市一般会計及び各特別会計決算の認定について	認定
議案第96号	平成28年度岩見沢市病院事業会計決算の認定について	〃
議案第97号	平成28年度岩見沢市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定
議案第98号	平成28年度岩見沢市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	〃
議案第99号	一般職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第100号	職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	〃
議案第101号	いわみざわ地域交流センター条例の一部改正について	〃
議案第102号	岩見沢市工場等設置奨励条例の一部改正について	〃
議案第103号	岩見沢都市計画特別用途地区建築条例及び岩見沢市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正について	〃
議案第104号	岩見沢市ワークプラザの指定管理者の指定について	〃
議案第105号	岩見沢市北村環境改善センター及び岩見沢市北村トレーニングセンターの指定管理者の指定について	〃
議案第106号	岩見沢市総合体育館、岩見沢市野球場、みずほ公園野球場、みずほ公園サッカー場、あさぎり公園野球場及びあさぎり公園庭球場の指定管理者の指定について	〃
議案第107号	岩見沢市北村多目的体育館及び土里夢公園パークゴルフ場の指定管理者の指定について	〃
議案第108号	岩見沢市栗沢球場、岩見沢市栗沢テニスコート、岩見沢市栗沢パークゴルフ場及び岩見沢市栗沢B&G海洋センターの指定管理者の指定について	〃
議案第109号	岩見沢市民会館及び岩見沢市文化センターの指定管理者の指定について	〃
議案第110号	平成29年度岩見沢市一般会計補正予算について（第4号）	〃
議案第111号	平成29年度岩見沢市特別会計国民健康保険費補正予算について（第2号）	〃
議案第112号	平成29年度岩見沢市特別会計介護保険費補正予算について（第2号）	〃
意見書案第7号	日欧EPA「大枠合意」の全容の情報を明らかにし、先行的な「暫定発効」をしないことについて	〃
意見書案第8号	平成29年度以降「産地交付金」の満額交付などについて	〃
意見書案第9号	適正な地方財政計画の策定について	〃
意見書案第10号	教職員の長時間労働是正について	〃
意見書案第11号	道教委「新たな高校教育に関する指針」を抜本的に見直し、すべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育について	〃
意見書案第12号	食品衛生管理の国際標準化について	〃
意見書案第13号	小中学校におけるプログラミング必修化に対して支援を求めることについて	〃
意見書案第14号	家族介護はもう限界です！障害児者の生きる基盤となる「暮らしの場」の早急な整備について	〃

第4回定例会までに提出された次の陳情・要望書は全議員に写しが配付されました。

- 29年度以降「産地交付金」の満額交付などを求める要望意見書について
- 日欧EPA「大枠合意」の全容の情報を明らかにし、先行的な「暫定発効」をしないことを求める意見書の採択について

※可決した意見書案・決議案は、市議会ホームページでご覧になれます。

12月8日、11日、12日の3日間にわたり、10人の議員が一般質問を行いました。
紙面の都合上、1人1項目を要約したものを紹介します。

新庁舎建設について



市民クラブ
太田 博之

問 市とコンサル会社でどのように協議が進められてきたのか。

答 新庁舎に関するさまざまな事項の検討は、庁内に設置した新庁舎建設検討委員会がその役割を担っており、コンサル会社は市の指示により情報収集や資料作成などの各種業務支援を行っている。

映するのか。

答 随時、新庁舎建設特別委員会に報告し、市民との情報共有を進める中で、反映できる意見等は検討していく。

問 新庁舎の機能、建設費、基本計画策定後の設計等の事業計画に関する市長の考えは。

答 内部検討委員会が作成した検討結果報告書やパブリックコメントの募集で示した三つの建設の基本方針「すべての市民が利用しやすく、時代の変化に対応可能な庁舎」「簡素で機能性と経済性に優れた庁舎」「総合的な防災・災害復旧の拠点となる庁舎」が基本だと考えている。

【その他の質問】

- ・空き家問題について
- ・除排雪について
- ・放課後児童クラブについて

問 市民や議会からの意見をどのように基本設計に反映

答 平成30年度に基本設計及び実施設計を行う予定で、基本設計が完了するのはおおむね秋ころもしくは夏の終わりころを想定している。多くの意見を聞くため基本設計の早期着手や効率的な業務の推進を図り、限られた期間の中でできるだけ多くの設計業務期間を確保したい。

基幹産業である農業の展望と振興について



市民クラブ
豊岡 義博

問 生産性の向上による競争力の強化を図り、生産者を積極的に後押しし、強い攻めの農業と美しく活力ある農村づくりを推進し、農業の振興と発展に向け取り組みを進めるべきと思うが市長の考えは。

答 新たな農業振興ビジョンを策定し、各施策の推進に努めており、特に農業所得を向上させ、農業経営の安定による持続可能な農業の実現を図るため、短期または中長期的な視点に立ち、岩見沢農業の特徴や優位性を生かしながら、農作業の効率化・省力化、担い手の育成など総合的に進めていくことが必要であると考えている。JAいわみざわを初め、関係機関・団体や農業者との連携による取り組みを基本とし、農業所得の向上や体質強化に向けた取り組みを進めたい。

答 エゾシカの捕獲方法の一つであるくくりわなについては、効果的に捕獲するという点ですぐれているが、わなの設置には高度な技術と経験を要し、捕獲状況確認のため毎日の見回りを欠かすことができず、狩猟者にとって大きな負担になっていると伺っている。民間会社の話によると実験結果の検証や改良を繰り返し、ノウハウを蓄積した後、製品として販売したいとのことであり、開発状況の動向を確認していくこととしている。

問 丘陵地有害駆除対策連絡会と民間企業が共同で始めたセンサーつきくくりわなの実証実験に対する市長の考えは。

【その他の質問】
・いじめ対策の都道府県格差の是正に向けた取り組み強化に対する岩見沢市の対応について



教職員の長時間勤務実態の是正について



市民クラブ
大坂 龍起

問 教職員が過酷な勤務実態に陥っている大きな要因は。

答 大きな要因については、部活動の指導はもとより、複雑化・多様化する生徒指導や保護者の対応、教育研究や授業準備、成績処理や学年・学級の事務処理、分掌業務など多岐にわたると考えている。

問 当市の小・中学校教職員の勤務実態は。

答 北海道教育委員会が行った教育職員の時間外労働等にかかる実態調査では市内の中学校1校が抽出され、結果は1週間当たりの勤務時間が教諭の1人当たり平均では57時間、教頭では67時間であり、1月当たりの時間外勤務が教諭1人当たり平均では72時間、教頭では112時間という結果であった。しかし、限られた調査期間であったため、当該校において通年で同様の状況にある、また、市内の学校に共通す

るとは断定はできない。

問 長時間労働是正のための具体策について伺う。

答 北海道教育委員会では先ほどの調査結果をもとに勤務時間の客観的把握など「学校における働き方改革アクションプラン」を策定するとしており、当市教育委員会としても同プランの成案を待ち、それに沿った対策を講じたいと考えている。また、そればかりではなく、学校内の業務分担の見直し等、直ちに学校で取り組めることから実践するよう各校長に指導していく。

【その他の質問】

・岩見沢市の人口減及び人口増対策について



職員研修について



公明党
齊須 正友

問 本市における新人研修、主に接遇の研修内容は。

答 当市での新人研修としては、さまざまなカリキュラムから構成する初任者研修を実施し、公務の遂行に必要となる各種法令や制度、文書実務、コンプライアンスに関する研修などとともに、市民の皆さんとの信頼関係を築く第一歩となる接遇やコミュニケーションに関する研修をあわせて実施している。接遇研修の内容として、身だしなみや表情、動作などの「第一印象」、市民との最初の接点となる「挨拶」、「窓口や電話対応」など、社会人としてのマナーはもとより、行政サービスの提供とする上で基本となる研修を進めている。

あわせて、接遇の重要性と同時に、来庁される方に対し、その要件やニーズを的確に把握し、迅速に判断や対応を行うことも、安心や信頼感を持っていただくための重要な要素と考えており、担当する業務を習熟する、職員間の連携を図るといったことを目的と

した職場内研修の実践や、道内外のさまざまな研修機関への積極的な参加を促すなど、職員の専門的な知識の習得に努めている。

問 来庁者に対する、※TPOに合わせた挨拶の必要性についてどのように考えているか。

答 時として、冷たい印象を与えかねないような、画一的な市民対応にならないよう、平成26年に、窓口部門の職員を中心とした自主研究グループの活動として、接遇の基本的な心構えや窓口・電話対応などを取りまとめた接遇マニュアルを作成し、全職員で共有するとともに、新人研修の際などにも活用している。

※TPO
時と所と場合

【その他の質問】

・ヘルプマークについて
・届け出挙式について

新学校給食共同調理所を通じての食育について



日本共産党議員団
山田 靖廣

問

全児童生徒が必ず新学校給食共同調理所を見学、学習できるように授業に組み込み食育の一環としていくことが必要と考える。

できれば、午前中に見学、学習し給食時間時には学校で給食をもしくは施設の中で可能ななら給食を食べることを検討してはどうか。

答

教育委員会ではこれまで、栄養教諭が各学校を訪問し、児童生徒が正しい食事のあり方や望ましい食習慣を身につけ、みずから健康管理できるようにするなどの「食に関する指導」に取り組んできた。

新学校給食共同調理所には、約80人が階段状に腰をかけ調理の様子を見学できるスペースや、食育を学ぶための研修室を2階に整備し、ビデオ映像やキッチンを使用し、学校給食を教材とした食育に取り組む。

現岩見沢共同調理所は見学スペースが十分でなかったこともあり、児童生徒の見学は年間10件

程度にとどまっていた。

新調理所については、栄養教諭による「食に関する指導」の一部も実施することにより、幅広く調理所で学習する機会をふやす考えである。特に小学校においては、低学年のうちに全ての児童が教科や食育の授業の一環として、見学に訪れることができるよう学校と調整し、計画的に進めたい。

今までの見学も調理作業が行われていたが、給食を食べてもらうことはできていなかった。

調理所での食の指導に当たっては、調理の見学と食育並びに給食をセットにした取り組みが効果的であると考えられるため、調理所で食べることも含め学校と調整を図りたい。

【その他の質問】

- ・ 市民の健康を守る取り組み
- ・ 救急安心センター事業の取り組み
- ・ 主権者教育及び投票制度

福祉施策検討委員会の答申を受けて



日本共産党議員団
上田 久司

問

福祉施策検討委員会から「高齢者バス無料乗車券等交付事業」、「身体障害者年金」、「長寿年金」の3事業について廃止の方向が示されたが、市の全体予算の中でのやりくりが十分可能と思う。高齢者や障害を持つ人への温かな配慮を市政に望む。

この答申を受けて、今後の市の対応であるが、市民からの意見も聞くことも必要と考えるが。

また、市としての最終判断はいつとしているのかを含め今後の対応を聞きたい。

答

福祉施策検討委員会から市民を取り巻く現状や将来の見通しを踏まえた活発な議論の上、答申をいただいた内容を最大限に尊重し、検討を進めたい。

答申の中では、制度が創設された当時とは環境や背景も大きく変わり、国の制度の成熟度が進んだもの、公平性を欠くことになったものもあるため、そういった観点も踏まえた議論をいただき、今

後においても継続的な検証を求められたところである。

「高齢者バス無料乗車券等交付事業」、「身体障害者年金」、「長寿年金」の3事業について、答申で廃止とされた事業についても、単なる廃止ではなく、狭い意味での福祉の枠や一部の方に限定するのではなく、将来のまちづくりを見据えて、市民生活を持続可能なものとする施策として再構築するべきという主旨の答申がなされたものと受け止めている。

現在、平成30年度の予算編成に入っているが、答申の内容を尊重しながら、それぞれの事業について、その必要性、効率性、有効性などを検証するとともに、見直しの時期を見きわめながら検討を進めてまいりたい。

【その他の質問】

- ・ 間口除雪、置き雪対策について
- ・ 新学校給食共同調理所について

※ヤングケアラーについて



公明党
酒井 和子

問 岩見沢市の実態について。

答 プライバシーの問題もあり、家庭環境に踏み込んだ実態調査は行っていないが、学校において家庭訪問、欠席遅刻の状況やその理由、「宿題をしてこない」「学力が振るわない」といった状況などを通して、児童生徒の置かれた家庭環境を知ること、把握に努めている。

問 「見えない介護者」ヤングケアラーの支援について。

答 各学校では生徒指導委員会の開催やスクールカウンセラーの活用など、児童生徒に寄り添った組織的な対応を行っ

ている。しかし、複雑な家庭環境や、福祉や医療にまたがるような複合的な要因により、学校だけでは対応しきれない事案については、教育支援センターが学校や児童生徒からの相談に対してアドバイスをするなど直接的に支援するほか、必要に応じて子育て支援センターによる要保護児童対策地域協議会につなげ、家庭に対する相談援助活動を行っている。今後においても、各学校において児童生徒理解に努め、関係機関が密接に連携して早期対応に努める。

※ヤングケアラー

病気や障害のある親、祖父母、兄弟等家族を介護する若年者。



【その他の質問】
・子育てについて

中小企業振興基本条例制定における考え方について



政和会
大和 勝

問 条例制定に向けてのこれまでの取り組みについて

答 平成29年10月、市の広報で中小企業振興の重要性について周知に取り組んだ。

昨年度及び本年度は、「地域を支える中小企業連携促進セミナー」を開催し、本年度は、「ワークショップ形式のセミナーを2回開催し、岩見沢の元気づくりや、市民や企業、行政が連携を深める方法について議論を交わし、共通の理解を深めた。

基本条例の必要性に対する理解や認識については地域全体への広がりに至っていないが、地元企業に限定したプレミアム付商品券・建設券事業などを通じて、中小企業振興や域内経済循環に対する意識の高まりが見られ、中小企業振興に対する理解は深まってきていると感じる。関係団体と連携し、機運向上に努めた。

問 今後の取り組みについて。

答 中小企業振興や地域内経済の好循環創出に向けた施策を展開するとともにセミナーやワークショップを継続して開催する。また、基本条例制定の必要性や推進方法などを話し合うため、関係団体や行政などからなる懇話会の設置の検討を進めている。

全体的な中小企業振興を図るプロセスの中で、議論を重ねることにより、理念にとどまらない条例の制定に結びつくものと考えており、関係団体とともに、中小企業振興や市独自の中小企業振興基本条例制定に向け、取り組みたい。

【その他の質問】
・介護予防・日常生活支援総合事業への取り組みについて
・地域おこし推進員による地域振興推進について

中心市街地活性化へ向けた 取り組みについて



政和会
榎館 竜哉

問 進捗状況及び経過について。

答 平成26年3月に策定した市の独自計画である「岩見沢市まちなか活性化計画」と平成27年3月に国の認定を受けた第2期の「岩見沢市中心市街地活性化基本計画」に基づき、官民協働で取り組んでいる。

計画の全58事業のうち、ハード事業は12事業で、完了及び着手済みの事業は「えみふる」や市住2条団地の整備等8事業で、未着手や着手予定は4事業となっている。ソフト事業は46事業で、完了及び取り組み中の事業が43事業、今後着手予定が3事業と計画に基づき、着実に取り組んでいる。また、公共・公益施設の利用者数については、「えみふる」などの整備による集客効果もあり、大幅に増加し、既に目標値を超えている状況である。

問 商店街での次世代リーダーの育成、既存店舗の後継者対策について

答 商店街と協力し、他市に先駆け、実践型インターンシップ事業や起業塾の開催に取り組みむなど、さまざまな手法により後継者対策に取り組んできた。

また、新規開業を促進するため、平成28年度から創業支援事業に取り組み、2年間で26人が創業し、このうち14人が中心市街地での創業に結びついた。創業希望者の中に、既存店の事業を継承する方が今後あらわれ可能性もあることから、地域が人材を育て、温かく支えていく環境を整えることが一層求められるものと考えている。

また、空き店舗や既存店舗の改修支援を初めとする商店街の魅力づくりに取り組みむなど、中心市街地のポテンシャルを高め、次世代リーダーの育成や後継者対策につなげてまいりたい。

【その他の質問】

・公園施設の再編と長寿命化対策
・岩見沢市における観光の魅力アップ

これからの岩見沢の観光 について



無所属
池島 和行

問 「ワインタクシー」の高評価の要因は。

答 岩見沢の知名度の向上、市内飲食店やワインナリー、タクシー会社等の売り上げ増加など幅広く当市の観光振興に効果があったことから高い評価を得たものと考えている。

問 台湾・シンガポール訪問でのトップセールスの効果と感触について。

答 メープルロτζジやバラ園、ワインナリーなどの観光施設のほか、野菜や果物の収穫体験、冬期間のハウスにおける花摘み体験、雪遊び、グランピングなどに對し、高い関心を寄せ、具体的なツアーに組み込むための提案をいただいた。

問 市内観光施設の多言語表記やパンフレットについて。

答 訪れた外国人が快適に観光できるよう、ハード面での多言語化表示の整備と並行し、受け入れ態勢の構築が何より重要と考えており、観光協会やJTB北海道と連携し、市民や観光ボランティア、タクシードライバー、市職員を対象にした外国人観光客おもてなし講座を7回実施するなど受け入れ態勢の構築に努めている。

問 いわみざわ経済が活性化するための観光振興とは。

答 観光協会が観光客のニーズを的確に把握し、効果的なプロモーション活動をはじめ、観光に関連する民間業者との連携を強化し、本市の資源を生かした体験型旅行商品のさらなる開発や販売体制の確立により、DMOとして収益を生み出す力をつけ、確実に事業を実施していくことが地域経済を活性化する観光振興につながるものと考えている。

他都市行政調査実施報告

各常任委員会において、先進都市の取り組みを調査しました。

総務常任委員会（10/2～4）委員長 平野義文

調査市及び項目：■千葉市／ちば市民協働レポート■長野県／信州型自然保育認定制度（信州やまほいく）■松本市／松本市子どもの権利に関する条例

◇「ちば市民協働レポート」は、市民が、いつでもどこでもスマホやパソコンを使用して、道路や公共施設等の状況報告や改善要望、作業報告などができるシステムです。今後の厳しい社会変化に対応する市民連携ツールとして、非常に有効なものと認識しました。

◇「信州型自然保育認定制度」は、非認知的能力を初めとする幼児期の育ちの重要性を鑑み、自然保育を初めとするさまざまな経験を促すための制度です。県を挙げて実施している制度で年々広がりを見せています。この制度のすぐれた部分を岩見沢に適したものにできないか検討していきます。

◇「子どもの権利に関する条例」は広く認知されている条例ですが、岩見沢市に適した条例であるかどうか、またその内容や具現化についてさまざまに調査をさせていただきました。

民生常任委員会（10/3～5）委員長 野尻 清

調査市及び項目：■藤枝市／『“健康・予防日本一” ふじえだプロジェクト』の取り組みについて■柏市／長寿社会のまちづくり～豊四季台プロジェクト～について

◇「“健康・予防日本一” ふじえだプロジェクト」の特徴は、健康づくりに対し、1,000人の保健委員が地域ぐるみで取り組み、また、健康づくりに取り組んでもらえるよう年代に応じたさまざまな取り組みを行っている。インターネットを活用した若い世代へのアプローチの仕方など、岩見沢市の既存事業にうまく取り入れることができないか研究したい。

◇「長寿社会のまちづくり～豊四季台プロジェクト～」は、高齢化が進む一部地域を中心に「在宅医療の普及」「高齢者の生きがい就労の創成」に取り組む事業で、在宅医療については、市と医師会等がタイアップし、多職種を巻き込み相互連携を密に事業展開しているが、需要がふえるほど医師等の確保など課題も多くあると感じた。

経済建設常任委員会（10/4～6）委員長 豊岡義博

調査市及び項目：■甲州市／ワイナリーを活かした観光施策について■甲府市／やまなし農業・農村総合支援事業について■南アルプス市／都市公園事業について

◇甲州市では、ワイナリーを活かした観光施策について、行政と市民、企業の協力と連携による効果と実績、これからの課題について視察しました。

◇甲府市では、農業経営基盤強化促進対策事業について、甲府市ワンストップ支援窓口を設置し経営改善発展、法人化、6次産業化、集落営農法人等の対応支援を行っており、その成果と課題について視察しました。

◇南アルプス市では、都市公園事業について視察しました。都市公園公園維持管理の財源の確保の一つとして、ネーミングライツ（命名権）を行い公園内の野球場や陸上競技場に企業名をつけ企業から年間450万円の収入があるということでした。

どの事業においても、官民の協力が不可欠で成果や達成率に大きく影響するものでした。

新庁舎整備に関する提言書を市長に提出



提言事項

1. 本市財政への配慮
2. 拠点機能の確保・充実
3. 情報発信のあり方・市民意見の反映
4. まちづくりへの寄与

※提言書の全文は、市議会ホームページに掲載しております。

12月26日に開催の新庁舎建設特別委員会で決定された「新庁舎整備に関する提言書」を当委員会谷口洋一委員長が松野哲市長に提出をいたしました。

市民との意見交換会を開催しました。

- 日時 平成29年11月25日(土)
- 場所 生涯学習センター いわなび
- テーマ 除排雪について



開催テーマに基づいて意見交換を実施。その後参加された皆様方と自由な意見交換をいたしました。いただいたご意見、ご質問やアンケート結果等を市議会ホームページに掲載しております。ぜひごらんください。

編集後記 広報広聴委員会委員 太田博之

議会開催前に、125カ所の公共施設等へ出向き、議会開催お知らせのポスターを掲示していただけるよう8名の広報広聴委員でお願いに回っています。各施設では快く承諾をいただき、掲示をしていただいております。この場を借りてお礼を申し上げます。

しかしながら、議会の傍聴者は毎回数人程度であるため、もっと多くの皆さんに来ていただきたいと思っております。

これからも市民の皆さんと議会の距離を少しでも縮める努力と工夫をまいります。

[委員長] 酒井和子 [副委員長] 檜館竜哉
[委員] 伊澤幸信 太田博之 豊岡義博 大和 勝 山田靖廣 池島和行

議会を傍聴してみませんか

本会議・委員会は当日に簡単な手続きを行うことで傍聴できます。いずれの会議も市役所本庁舎3階で行われます。

ホームページ

議員名簿、議会の概要、本会議・委員会開催のお知らせ、意見交換会、過去の会議の結果(会議録)等を掲載しています。

議会中継

本会議の様を生中継・録画中継しています。視聴に当たっては、ホームページの「市議会インターネット中継」にアクセスしてください。

市議会の詳しい情報は、岩見沢市議会のホームページをご覧ください。

岩見沢市議会

